

令和2年8月定例市議会

行政報告要旨

総社市

本日、8月定例市議会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、万障お繰り合わせの上、ご出席くださいまして誠にありがとうございます。今議会におきましても、新型コロナウイルス感染対策として、議会運営に格別のご配慮を賜り誠にありがとうございます。

まずは、新型コロナウイルス感染による総社東中学校の休校についてです。本件では、中学校内に濃厚接触者はおらず、それ以降の感染者は確認されておられません。念のためにPCR検査を受けた51人の方々の結果は全て陰性であり、健康状態も良好です。そのため、マスク着用や3密回避といった、感染拡大防止策、これを行った上で、予定通り学校を27日から再開しております。市民の皆様には、差別や誹謗中傷、人権侵害を絶対にしないこと。これをぜひ徹底していただきたいと思います。8月21日に、私は、人権を守ることを最重要課題に掲げ、直ちに、そうじゃ総合教育会議と人権尊重緊急集会を開催致しました。会議では、人権を守るためのチラシを活用しながら、地域全体でこの課題に早急に取り組むことを確認しました。伊原木知事には、この課題の重要性を

強く訴えておりましたが、県においても、来月、感染者らの誹謗中傷を防止するキャンペーンを実施することになったと承知しております。県のスピーディな対応に、心より感謝申し上げます。また、人権を守るためには、新型コロナウイルスに関する正しい知識を学ぶことが重要です。長崎大学の山本太郎教授を始めとする感染症専門家会議のご協力を得て、インターネットに公開できる、正しい知識に関する動画の準備を進めております。総社市は、市民みんなの力で、心を一つにしてひとりひとりの人権を守り抜いていく。そのことに、全市を挙げて全力で取り組んでまいります。

また、総社東中学校の学習保障については、7時間授業を実施するなど、学習面の不安を払拭するべく教職員一丸となってしっかりやってまいります。

(休校に伴う支援金 1 万円)

この度の、総社東中学校の臨時休校に伴い、家庭での経済的負担を軽減するための支援金を今議会に上程させていただいております。私は、総社市長及び教育長の判断により、

新型コロナウイルス感染者の発生を理由に、特定の学校を休校せしめた場合、その補償は責任を持っておこなうべきだと考えております。そもそも、新型インフルエンザ等対策特別措置法では、県知事には休業要請の権利はあるものの、命令ではないためそれに従わなかった場合の罰則規定もなく、休業補償の在り方も明確ではありません。従って、例えば東京都は、休業要請に従った民間企業に協力金を支払うが、他の都道府県では、全く違った対応になっている。このことが、新型コロナウイルスの封じ込めが出来ない要因のひとつであると考えております。私は、休業要請をしたからには休業補償をする。また、地方は、学校に対する特定の権限を持っている以上、特定の学校を休校せしめた場合には、補償をする。このルールを明確化すべきだと考えております。我が市においても、今後、休校のルール、それにまつわる補償の在り方などを制度化すべきだと考えております。

(そうじゃ復活券延期)

また、このコロナ禍は、総社の経済にも大きな打撃がござ

いました。これを打破するために、総額10億円に上る「そうじゃ復活券」事業を、先般の臨時市議会で可決していただきましたが、これにつきましては開始時期を延期することに致しました。これは、現在の感染状況を受けて、市民の不安が増幅する中、時期尚早であると判断したからであります。総社の経済をV字回復させるための切り札として、私は、この復活券に大きな期待を寄せております。安全のタイミングを見て必ずスタートさせますので、今しばらくお待ちください。

(コロナ対策×経済分野)

また、お持ち帰りDEお得券事業ですが、本日が利用できる最終日となりました。本日までの経済効果は、販売枚数 3万7,392枚、販売総額 1億1,217万6,000円となっております。皆様のご協力に厚くお礼申し上げます。私は、この政策を通して、市民が市内で消費すること、このことが市内経済に与える影響は絶大であると痛感致しました。将来的には、市内循環型の経済サイクル、この実現を目指し

て、議論を深めていきたいと思えます。

次に、4月から7月分の水道料金完全無料化の実績について報告致します。工業用水道も含め、4月から7月分の使用量を集計しましたところ、概算ではありますが、前年度より減っているという結果が得られました。私は、ことさら節水を呼び掛けたわけではありませんが、このような状況においても、使用量が減っていたことに、改めて総社市民の素晴らしさを実感致しました。この場をお借りして、感謝申し上げます。

(人吉市災害派遣)

さらにこのコロナ禍は、災害対応にも多大な影響を与えています。本市は、令和2年7月豪雨で甚大な被害を受けた、熊本県人吉市へ支援を行ってまいりました。これは、本市議会が人吉市を視察したご縁がきっかけであり、2年前の災害で熊本県から本市に多くのご支援をいただいた、このことへの恩返しとして、支援隊15名を人吉市へ派遣致しました。本市の支援隊は、体温チェックによる入室許可や消毒などの

コロナ対策業務を遂行してまいりました。

今回の支援により、我々は、感染症対策を講じた上での避難所運営を、身をもって体験することができ、この貴重な経験は、将来必ずや本市の災害対応に生きてくると確信しております。

現在被災地は、コロナ禍の影響を受けて、県外ボランティアの受け入れをお断りしているため、明らかなマンパワー不足に陥っております。そのため、復旧作業が進められず、全くの手付かずとなっている家屋も散見されます。このことは、私は非常に大きな問題だと感じており、対策を講じるよう国及び全国市長会へ強く訴えてまいります。

また、総社市としても、被災地の一日も早い復興のため、何が出来るかを考えてまいりますので、引続き議長をはじめ議員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

(総社デニムマスク)

これまで申し上げましたように、あらゆるピンチを迎えましたが、総社市はピンチをチャンスに変えていく、私はそう

何度も申してまいりました。コロナ禍において、全国のB型事業所が厳しい状況におかれる中、総社デニムマスクは21万枚を超える注文があり、B型事業所の賃金は概ね3倍アップしております。また、総社デニムマスクの流通販売業務を通販サイトAmazonが担うことになり、事業所が製造に集中することで、品質向上につながるという好循環が生まれています。我々は、将来的には販売網を世界へと広げることも視野に入れ、このプロジェクトをさらに加速させていきます。そして、これを一過性のブームとすることなく、安定した受注と賃金の上昇、これにより、障がい者の方々の安定した生活と幸せが実現できるよう、全力で取り組んでまいります。

(実現させる！総社の未来図～後期基本計画)

現在、令和3年度から令和7年度まで、総社市の未来図となる、後期基本計画の策定を進めております。

全国で人口減少が叫ばれる中、本市は、これまで右肩上がりに人口を伸ばしてきました。8月27日、本市の人口は過

去最大人口を更新し、69,439人を記録しました。今後も人口を増やすことにこだわり続け、後期基本計画では、令和7年度に、人口を7万500人にするという目標を掲げていきます。今後も、きめ細やかな福祉施策を展開することで、市民ひとりひとりにとって一番やさしいまちを目指して、邁進してまいります。

(復興事業)

総合計画で最重要課題と言えるのが、平成30年豪雨災害からの復興事業です。

去る7月6日、約120名の方々のご臨席の下、平成30年豪雨災害2周年式典を開催致しました。あの大災害を決して忘れず後世に語り継ぐ、そして、1日も早い復興を成し遂げる。私自身、決意を新たにする日となりました。復興事業は確実に、着実に進んでおります。排水ポンプについては、秦地区は業者が決定し、美袋地区も発注準備を進めているところです。下原地区の公会堂へ続く県道の拡幅工事が、来年度には着工する見通しであり、これにより、迅速な避難体制

と生活利便性が格段に向上すると期待しております。

発災後2年が経過しましたが、我々は、引き続き、被災者の方々の悩みや不安に真摯に向き合い、心の復興に寄り添ってまいります。

(6月議会での検討事項について)

ここで、6月議会での検討事項につきまして、その結果をご報告いたします。

岡崎議員から、新型コロナウイルスに留意した分散避難と、避難所のレイアウト再考についてご意見いただきました。感染症に留意した分散避難の方法については、ホームページに掲載するとともに、自主防災組織にも周知致しました。また、新型コロナウイルス対応した避難所レイアウト図もホームページに追加致しました。

頓宮議員からは、子宮頸がん予防ワクチン接種の個別通知に関するご意見をいただきました。この件につきましては、7月10日付で、市内の高校1年生女子生徒の保護者へ向け、子宮頸がん予防ワクチン接種について通知致しました。

今回、我々は、新型コロナウイルス感染が起きた際の対応を実際に経験しました。この経験を通して、私は、人を誹謗中傷しない、他人にも自分にもやさしい気持ちを持つということを、すべての市民に育んでほしいと強く思いました。そしてそれは、そうじゃ教育大綱に掲げる、「総社を愛す子供」「心優しい子供」「礼儀正しい子供」、これを体現する子どもたちを、地域全体で育てていくことで実現できると確信しております。そして今後、感染者が発生したとしても、市全体で一丸となって、感染者とその周りの方々を全力で守るまち、ひとりひとりにとって一番やさしいまちへと本市を成長させていきたい、そう強く願っております。議員の皆様をはじめ、市民の皆様におかれましても、より一層のご理解と、ご協力をお願い申し上げ、私からの行政報告とさせていただきます。